

栄光学園創立者による自筆メモと 戦後の教育

- 教育の目的と期待される教師像 -

1

2024.1.19

(株) モナビITコンサルティング

大野邦夫

1/22/2024

2

目次

- はじめに
- 自筆メモの構成の解釈
- 教育の目的
- 期待される教師像
- 教育分野における戦後日本の歴史
- 考察
- おわりに

1/22/2024

3

はじめに

- 2022年の年次大会のDMH研究会[1]のセッションで、自筆メモが発見された経緯や、その内容をDTPシステムを使用して分類し、それをXMLでタグ付けする手法について紹介
- 2022年末の第4回DMH研究会の報告[2]で、XML化されたフォス校長の自筆メモ内容の詳細を具体的に紹介
 - [1] 大野邦夫, "栄光学園創立者による自筆メモの分析と考察", 2022年度画像電子学会年次大会講演論文, Aug. 2022.
 - [2] 大野邦夫, "栄光学園創立者による自筆メモの構成と内容", 画像電子学会第4回デジタルミュージアム・人文学研究会資料, Dec. 2022.

1/22/2024

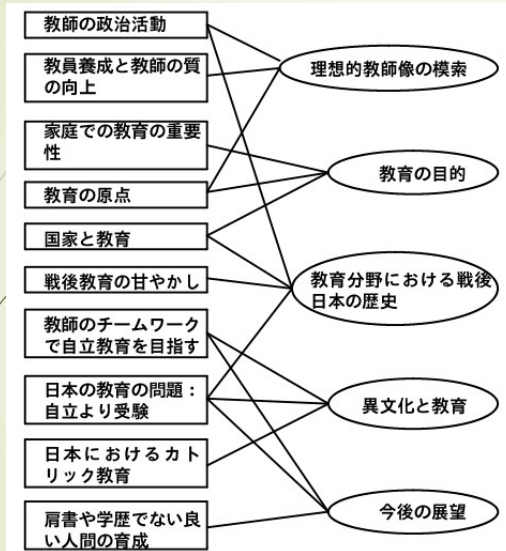
4

第4回DMH研究会報告における自筆メモのまとめ

- 1) 教師の政治活動は好ましくない
- 2) 教員養成と教師の質の向上
- 3) 家庭での教育・しつけの重要性
- 4) 教育の原点：自立した社会人の育成
- 5) 国家と教育：日本の教育は戦前の「国家」を「経済」に置き換えた
- 6) 戦後教育の甘やかし：民主的教育の無責任さ
- 7) 教師のチームワークで自立教育を目指す
- 8) 日本の教育の問題：自立より受験
- 9) 日本におけるカトリック教育：布教することではない
- 10) 肩書や学歴でない良い人間の育成

1/22/2024

5



自筆メモの構成の解釈

- 今回の内容
 - 教育の目的
 - 理想的教師像の模索
 - 戦後日本の教育
- 次回の内容
 - 戦後日本の教育
 - 異文化と教育
 - 今後の展望

1/22/2024

6

教育の目的

1/22/2024

7

自立することの重要性

- 教育の目的：
 - 時代や国境を超えて社会的に通用する人間を育てる
 - 自立した社会人の養成



1/22/2024

8

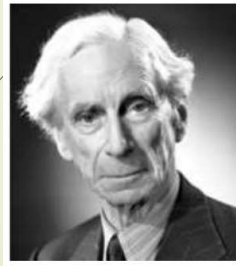
一般教育と職業教育

- 自立した社会人になるためには、職業を持つ必要がある
 - 人間が社会的に生きるためには、職業を持つことが基本
- 欧州における職業教育の基本：働かざる者食うべからず
 - 新約聖書のパウロの書簡の言葉
 - パウロ自身、テント職人としての職業スキルを有していた
 - 職業教育の重要性は、西欧キリスト教文化に根差す
- 米国と日本は、一般教育（リベラルアーツ教育）を重視
 - 日本では一般教育で優劣を競わせることが受験教育に結びついている

1/22/2024

9

組織に奉仕するための教育



- 権威・権力・組織に奉仕するための教育
 - 国家のための教育や宗教団体による布教のための教育
- ラッセルは、個人の自立よりは、組織に奉仕させる教育を問題視し批判
 - 国家に奉仕することを目的とした戦前の日本の教育
 - 宗教的な布教を目指したジェズイットの教育
- 教育の目的は明確化できるものではなく、多様な価値観を共存させ、許容させる必要がある

1/22/2024

10

孤独な群衆と社会的性格

- デイヴィッド・リースマン
- 工業化に伴う社会的性格の変化を分析
 - 農業社会：伝統指向
 - 工業化社会：内部指向
 - 工業化後の社会：他人指向
- 時代に共通の社会的性格
 - 適応型
 - アノミー型
 - 自律型
- 高等教育における自律型育成を重視



1/22/2024

11

自律と自立

- ▶ 自律：
 - ▶ 自己を律する
 - ▶ 精神的・心理的・性格的な心の内面を問う言葉
- ▶ 自立：
 - ▶ 他者に依存せずに自分で立つ
 - ▶ 行動や活動といった外面を対象とする語彙
- ▶ フォス校長は家庭における自立のための教育を重視
 - ▶ その思想を父親の薫陶から獲得

1/22/2024

12

期待される教師像

1/22/2024

13

政府・文部省が期待する教育者

- フォス校長のメモにあった木川達爾氏の記事 (文教大学教授)
 - 教師は広い教養を持つことが期待される
 - 教師には豊かな人間性が求められる
 - 子供に対する深い教育的愛情を持つ教師が期待される
 - 使命感に燃える教師が期待される
 - 教師には優れた指導力が期待される
 - 子供との心のふれ合いを持つ教師が期待される



1/22/2024

14

受験教育がもたらすサラリーマン教師

- 受験教育が、自立した社会人の育成という本来の教育を歪めた
 - 偏差値のような統計尺度で評価する教育方針が組織に順応するサラリーマン教師を育成
 - 高等教育までもが、良い就職口を得るための就職予備校的に変質
- 日本の教育が組織に順応する適応型の人材育成の場になり下がった
 - フォス校長は、受験教育を盆栽造りに譬え、「点取り親がつくるボンサイ」と称す

1/22/2024

15

期待される具体的な教師像

- 一般論としての理想の教師像よりも現実の教師の事例が有効
 - 魯迅の藤野先生
 - ドナルド・キーンの角田先生
- 永井道雄の「異色の人間像」
 - 十河信二, 安倍磯雄, 高崎達之助, 松村健三, 角田柳作, 幣原喜重郎を挙げて紹介
- サラリーマン教師でない異色の教師が重要



1/22/2024

16

教育分野における戦後日本の歴史

1/22/2024

17

戦後の教育改革

- ▶ 占領軍は戦前の日本の軍国主義の元凶を政教一致の教育にあったと見做した
 - ▶ 国家神道と一体になった天皇制を背景に、教育勅語と修身教育を通じて天皇制を国民に強制した
- ▶ 天皇の人間宣言を通じて象徴天皇制とし、戦争を放棄し、基本的人権を尊重する新憲法を制定
- ▶ 国家による教育支配を避けることを新教育のねらいとした
 - ▶ 都道府県の教育委員会が地域の状況に応じた教育行政を行うように制度を改革
 - ▶ 専門職団体としての日本教職員組合の設立を認め推進
- ▶ しかしフォス校長は、占領軍の方針を甘やかし教育として懸念した

1/22/2024

18

栄光学園の設立

- ▶ 栄光学園の設立も、占領軍が指向した新教育制度への取り組みの一環
 - ▶ フォス校長が戦後再来日して二週間後に、イエズス会から田浦に開校予定の中学の校長になることを命じられた。
 - ▶ 開校予定地で米海軍横須賀基地の司令官のデッカー大佐と会い、愚痴をこぼす
 - ▶ デッカー大佐に励まされて栄光学園の設立を決意する
- ▶ 神奈川県教育関係者で話題になる
 - ▶ 横須賀にドイツ人が経営する厳しいしつけをするユニークなミッションスクールの中学があると評判になる



1/22/2024

19

公選制から任命制に移行した教育委員会



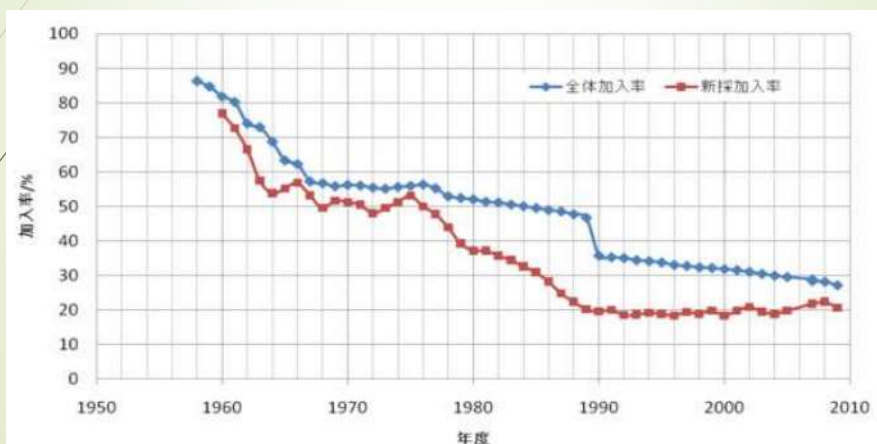
- サンフランシスコ講和会議が1956年の9月に開催され、日本の主権が回復
 - 教育二法案が成立し、教育委員会の公選制から任命制への移行が行われた
 - 日本教職員組合（日教組）と政府・文部省による教育方針の対立が激化
- 石川達三の「人間の壁」が1957年8月から1959年4月まで朝日新聞に連載された
 - フォース校長が「人間の壁」を読んだならば、労働者の立場に立つ教育者のあり方を認識できたのではないかと

1/22/2024

20

保守と革新の対立の経緯

- 日教組の組織率とその推移を物語る



1/22/2024

21

考察

1/22/2024

22

フォス校長の活動のまとめ

- 教育の目的：自立した社会人の育成とし、自立の重要性を強調
- 教師像：使命感に欠けるサラリーマン教師を問題視
- 創立時の教育方針：自立精神を強調した厳しい規律の教育を実践
- 日本独立後の文部省と日教組の対立
 - 戦前の国家が管理する教育への回帰を目指す政府・文部省の教育政策により、日教組は衰退
 - 政府の教育政策は戦前の「国家」という言葉を「経済」に置き換えただけ
 - 栄光学園は受験校として有名になり、フォス校長の教育事業家としての手腕が発揮され、社会的にも高い評価を得た
 - しかし、自立した社会人の教育としては課題を残す

1/22/2024

23

おわりに：今後の課題と総括

- ▶ 受験校となった栄光学園は、自立を通じて社会貢献する人材の育成とは異質なものに変質した
- ▶ 自立より受験という日本の教育の問題の克服を、カトリック教育、キリスト教ミッションスクールの展望として模索する必要がある
- ▶ 以上を含む課題を、戦後日本の教育、異文化と教育、今後の展望というテーマで次回のDMH7研究会で報告する
- ▶ このような教育や歴史に関する人文学的なテーマをDMH研究会として議論する場にしたいと考える

1/22/2024

24

ありがとうございました

1/22/2024